

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内
-------------------	------	------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	0	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	10	0	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	10	0	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>契約時には利用者本人の意見や、ご家族の大変な所を聞き取り、サービスを組んでいる。またその情報をミーティングや情報共有ツールでリアルタイムに情報共有している。</p> <p>利用初期段階では通いなどのサービスも無理強いせず、訪問で馴染みを作り通いへのアプローチをしているので早期に通いに繋がっているケースがほとんど。</p> <p>本人や家族に必要な支援をミーティングで話し合い、分からない所は相談しながら、福祉用具や外部のサービスを提案している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	3 人	0 人	0 人	10

前回の改善計画	<p>①・②ケアプランの重要性を理解できるように研修を行う。</p> <p>④ミーティングでは事前資料があり、発言が苦手な方は資料に書き込むようになっている為、それを活用し意見を述べる事が出来ている。しかし、発言する事で建設的な意見交換ができる為、事前資料に早く目を通せ、意見を考えておけるように早めに配布できるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ケアプランの研修は年内に実施予定。ケアプランは全職員閲覧して情報の把握に努める事が出来た。ミーティングでは担当利用者についての意見を資料に書き込むだけでなく、早めに配布するようになったことで発言して意見交換出来ている。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	7	3	0	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	3	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	6	4	0	0	10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人の目標(ゴール)やしたい事については日々の関わりの中で理解していく事である。在宅での生活を出来るだけ長く過ごせるように目標(ゴール)である。</p> <p>また当面の目標は転倒防止、脱水防止で入院を防ぐこと。訪問を増やしたり、手作りポカリで水分補給の徹底を行い、転倒防止に向けて在宅での環境整備に重点を置いている。</p> <p>ミーティングではPDCAサイクルを活かして、サービスの見直しや有効性を評価している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ケアプランは閲覧して理解しているが、それを活かして個別ケアに落とし込めていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月25日(19:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画
前回の改善計画に対する取組み結果

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	10	0	0	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	0	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	9	0	1	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	0	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①③利用されながら、職員も関わりを持つ中で今までの生活環境を知っていく事がほとんどである。また、本人の言語化できない思いは本人の表情や家族との話の中で見つけていっている 体調の変化や本人家族の意見等は、情報共有ツールでリアルタイムに情報共有している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	0人	0人	10人

前回の改善計画	独居の利用者の近隣宅・民生委員・自治会長に広報をもって挨拶に行き、馴染みを作る。職員が主となって定期的実施する事で主体性をもてる。
前回の改善計画に対する取組み結果	近隣、民生委員、自治会長との関わりは所長が主となって行った。しかし、民生委員からの電話や送迎時の近隣の方からの相談等は職員が聞き取り、情報共有出来ていた。利用者が住まわれている地域の方も百寿の存在を把握し、声を掛けて下さるようになった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	10	0	0	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	10	0	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	10	0	0	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
行事や広報を活用して、家族にも協力してもらい様な内容を企画している事で、関わりを持ってもらうようにしている。自宅で一人で過ごされている時の様子は分からないが、訪問看護市や訪問リハビリ等の他職種とも連携し、自宅での様子の情報把握に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、独居の利用者の近隣宅・民生委員・自治会長に広報をもって挨拶に行き、馴染みを作る。職員が主となって定期的実施する事で主体性をもつ。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
------------------	-----	------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内
----------------	------	------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	10	0	0	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	0	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	10	0	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者・家族の悩みを聞き取り、自宅に訪問する事で必要な支援を洗い出し、他職種も含め検討し、サービス調整を行い、柔軟な支援をしている。その中で、百寿だけでは賅えないものに関しては社会支援も活用しながら住み慣れた自宅での生活を支えている。</p> <p>また、家族の体調や用事にも合わせて通い宿泊・訪問を適切に組み入れ調整しサービス提供している。訪問先・事業所での体調不良にも、訪問看護との連携や受診付き添い等も行っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
------------------	-----	------------------------

6. 連携・協働	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内
----------	------	------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	0人	0人	10人

前回の改善計画	認知症カフェの様に職員が参加できるような活動事には、職員も出来るだけ参加してもらうように調整していく。また、運営推進会議や他職員との交流会、担当者会なども参加し、全員が地域や他職種と関わって行けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	認カフェに関しては順番性にして、職員が行くようにしている。他職員との交流会も参加できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	10	0	0	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	10	0	0	0	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	10	0	0	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
包括支援センターや地域の方が参加する地域ケア会議や運営推進会議、また、訪問看護や福祉用具、その他の他職種が参加する退院前カンファレンスや、担当者会議に所長・ケアマネが参加して、在宅サービスの支援を話し合っている。その情報は職員で共有している。また、地域の活動・事業所訪問も地域から声が掛かれば参加・受け入れする。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
------------------	-----	------------------------

7. 運営	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内
-------	------	------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	10人	0人	0	0人	10人

前回の改善計画	全員が地域との取り組みに関わっていると認識できるように、地域との協働した取り組みを事業所から提案できるように何か企画を考えて、今年度だけでなく継続的に発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	継続的な計画として、城東味まつり出店の企画を考え参加していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	5	5	0	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10	0	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10	0	0	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者・家族・関係者からの意見については、その都度職員間で共有し、ミーティングでどうしたら良いか検討し、出来る事については反映するようにしている。また、反映するには難しい事柄については包括支援センターや市に相談している。</p> <p>地域の方からの意見や苦情も同様に、難しい事例については市や包括支援センターに相談するようにしている。</p> <p>今の所、地域からの相談や苦情はない。</p> <p>今年は、城東味まつりに出店。3事業所のふれあい祭りはコロナ感染拡大の為中止となり、ここ4年祭りはしておらず地域とに関わりも疎遠になって来ていたが城東味祭りに参加する事で、地域と協働して取り組み、百寿の郷のPRを図る。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も継続して城東味まつりへの参加を企画。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月25日(19:00~19:30)
------------------	-----	------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内
-----------------	------	------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	0人	0人	0人	10人

前回の改善計画	今年度も引き続き、スキルアップの為外部の研修に参加する事だけではなく、本を読んだり出来ていない所や分からない所を他職員に聞いて学ぶこともスキルアップに繋がる為、出来る事を行っていく。また、YouTubeやオンライン研修もある為、時間が無くても活用出来る事をしていく。定期的に声掛けし、研修案内があれば参加の促しをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	全職員が目標を掲げて研修参加に取り組むことが出来た。外部の研修(通所部会主催の研修)(医療センター主催の研修)や、個人的なスキルアップの為のパソコン教室や本を読んだ学習が出来ていた。また、タブレットを導入しミーティングでの動画研修、zoom研修等気楽に参加出来る研修も増え職員全員が研修に取り組んだ。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	10	0	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	10	0	0	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	10	0	0	0	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員全員、外部の研修・他職種交流会などに参加している。パソコン教室や実務者研修もスキルアップの為に取り組んで努力している。地域との打ち合わせ・地域の方参加の会議等は所長やケアマネが参加され情報共有している。毎月のミーティングでヒヤリハットを取り上げ、リスクマネジメントに取り組んでいる。ヒヤリハットをたくさん上げるように意識してもらっている。百寿の代表(所長・副所長)として、城東地区の自治会長会に参加する。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月25日(19:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 高平・濱崎・廣瀬・後藤・川端・西尾・澤・松崎・浅田・山内

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	0	0	0	10
②	虐待は行われていない	10	0	0	0	10
③	プライバシーが守られている	10	0	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	0	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待・プライバシーに関しては研修も行っており、職員は理解し実践している。事業所での気になる所がないか振り返りも行っている。 成年後見制度も活用し、独居の方(身寄りのない方)には説明をしたり、また、成年後見人の話を定期的に声掛けしている。権利擁護の研修も行い成年後見制度・社会資源の活用等の研修も行う。 個人情報の管理として、個人情報が書かれている書類の持ち出し禁止をしている。また、電話での問い合わせにも家族に確認している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特になし	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	余田 洋右	法人・事業所の特徴 田舎で田んぼのど真ん中に建っていますが、とてもどかで、眺めがよく、陽当たり、風通しも抜群です。季節に応じて野菜を育て、季節に応じて花を植えて、収穫した野菜で料理を作り、ご利用者の日頃の楽しみも提供しています。 百寿の郷は、「心身の機能向上・きめ細やかな介護実践・地域と家族が参加する事業運営」を基本理念とし、こまやかな「訪問」サービスを行うことで「通い」から「訪問」を中心とするサービスの展開を心掛けています。心身の機能向上が理念にあるように、事業所でも「自分で出来ることは自分でしてもらう」を方針として努めています。在宅生活を維持していくためにも、今できている事を継続するという考えから、「このようにしたらしやすいよと声掛けを行う」、「本人がしやすい様に事業所・在宅と環境整理を行う」、「機能の維持向上が出来るように個別ケアとして体操メニューを考え行う」事で予防にも努めています。 在宅生活を安全に安心して過ごせるように、訪問を中心として、体調の変化や身の回りの状況を把握し必要に応じて、サービスの調整や買物支援を行います。しんどい時には通いや泊りを追加したり、本人の金銭状況に応じて買物をする事で支出の削減をしたりとその人にとっての在宅生活を継続する事を考える事も私たちの役割です。それも、小規模多機能ならではのサービス提供だと思います。 職員間や他職種との情報共有にも努めており、かかりつけ医、訪問看護、リハビリ等連携しています。通い・訪問・宿泊を利用しながらターミナルの対応もしており、利用者の希望に寄り添いながらケアを心掛けています。また、夏場は訪問を強化して、熱中症などによる入院の防止に努めております。 新型コロナウイルスも落ち着き始め、外出する機会も増える中、楽しみを増やしつつ、感染対策に努めて色々な企画を考えています。 職員のほとんどが、人前で喋ったり、踊ったりするのは苦手ですが、その反面手先が器用な職員ばかりなので、毎月行っている、「手作り〇〇」がご利用者から好評で、毎月楽しみにされています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 百寿の郷	管理者	高平 佳代子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 前回の改善計画を職員全員が日々忘れてしまうので定期的にミーティングで振り返りを行う。 今後も利用者の思いを聞き取り、家族と連携し個別ケアを実施していく。 	ケアプランの研修は年内に実施予定。ケアプランは全職員閲覧して情報の把握に努める事が出来た。 ミーティングでは担当利用者についての意見を資料に書き込むだけでなく、早めに配布するようになったことで、事前準備が出来、発言して意見交換出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> 小規模らしい支援方法は他の小規模の手本になると思います。 研修はとてもよくされているなど感じます。学んだことで、大事な点は知らせていただけると嬉しいです。 登録から利用に繋げるアプローチの仕方がほかの小規模より上手に出来ていると思います。利用の低迷している事業所に教えてあげて欲しいなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所外の研修にも参加をしていく。 家族との関わりを途切れないように、独居のご利用者も同居ご利用者も家族に関わってもらえるような行事等を企画する。
B. 事業所のしつらえ環境	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止の取り組みを継続し、感染対策に努める。 事業所周りも清潔にして、利用者と花を植えたり、草引きを行い環境整備に努める。 	職員も感染防止に従事しており、蔓延する事も無く対策に努めることが出来た。		引き続き事業所周りの環境整備。 <ul style="list-style-type: none"> 利用者と花を植える ベンチのペンキ塗り 案山子の作成

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も来年度に向けてふれあい感謝祭が実施できるように話し合っていく。 ・3事業所、どの事業所に相談等で来訪者があった場合や苦情等の情報があつた場合は情報共有できるように3所長会を今後も継続し、地域の拠点となれるように努める。 ・他職種連携研修会等、職員も参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所主催の地域の感謝祭がコロナ禍で行えない状況なので、城東の味まつりに参加し、地域と協働して関わりを持つことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報は工夫を凝らして作られており、楽しみに見せてもらっている。 ・地域の行事参加は情報共有や共同に繋がるのでコロナ禍で難しかったと思いますが少しずつ進めていってほしいです。職員全員が利用者本人の目標を共通理解することが重要なので、引き続き研修の取り組みを継続してください。 ・コロナ感染等の影響が大きいと思いますが、その中でも積極的に地域に向かうとされていることが分かります 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の継続→事業所の取り組みや事業所の紹介。 ・ブログやインスタを発信→ご家族にも見てもらえるようにと、介護の楽しさを伝える。 ・城東味まつりに参加→地域の方との協働を図り、地域に百寿の郷を知ってもらおうきっかけ作り。
<p>D. 地域に向向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者や利用者の状況変化があつた場合は、家族の許可を得て地域の方にこちらから情報発信して協力し合える関係を築いて行く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議に以前出席して利点に繋がられました。 ・地域の方と職員が一緒になって支援できる体制が築けつつあることが分かりました。 ・地域の方の情報発信は欲しいですが、民生委員から抜けると地域の情報は全く分からない ・地域密着なので、地域を巻き込まないといけない。悪意が無ければ、地域との情報のシェアは致し方ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ、地域ケア会議等で地域の方と、本人を支える取り組みの意見交換をしていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もコロナ感染状況を踏まえながら、運営推進会議に職員・ケアマネや法人の関係者の参加も促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の課長も参加し、法人全体の取り組みを報告してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の事例検討の場は欲しいが、地域の心配事は地域住民でもなかなかつかみにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人課長や職員、関わりのある事業所等の参加をしてもらえるように働きかける。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続し、事業所の防災訓練の参加呼びかけ、地域への災害訓練の参加をし、協働を図っていく。 ・運営推進会議でも、災害時の事業所の取り組み等を情報伝達していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に参加できず申し訳ない。 ・日頃の訓練が実施されていてよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練への参加・協力を、地域の方にも呼び掛ける。避難誘導だけでなく地域の方への連絡や安否確認等できる仕組みづくりの話し合いなども検討していく。